

# さとしょう

議会だより

No. 71  
2013.1.31



岡山県 里庄町議会



- 補正予算4件、全会一致で可決 ..... ( 3 )
- 開発団地内の町道認定はルールを設けるべき  
(委員長報告より) ..... ( 5 )
- 里見川荘調査検討特別委員会 (中間報告) ..... ( 9 )
- 町政を問う(5人が登壇) ..... (11)
- シリーズ“地域の子どもたち” ..... (16)

餅つき大会

# 定例会

平成24年度第6回里庄町議会定例会は、12月10日から14日までの会期で開催されました。

議案は平成24年度の補正予算4件、町条例の一部改正1件、規約の一部改正1件、町道路線の廃止3件、認定5件、専決処分承認1件が上程され、すべて原案どおり可決しました。

なお、一般質問では5人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いただきました。

## 物忘れ相談プログラム

139万円

## 『四つ葉の家』を

就労支援B型へ

130万円

## 業務量調査委託料

132万円

65歳以上の10人に1人が認知症と言われているが、物忘れなどの初期症状は、年だから仕方ないと思われがちです。しかし、現在では治療薬の開発が急速に進み、認知症の治療が可能となつていきます。

そこで、当町でも認知

症の早期発見に役立ててもらうため「物忘れ相談プログラム」を導入します。

また、導入に必要な事務用品を15万2000円で購入します。

この事業は県から全額補助されます。

地域活動支援センター『四つ葉の家』を障害者自立支援法による就労支援B型の施設へ移行します。そのため常勤の職員を3人以上確保する必要があり、不足分を予算計上しました。

この移行により、年間

2000万円の報酬(国・

県の補助が4分の3)が見込め、町の負担が軽減

される予定です。また、常勤職員増員により利用者

者の環境がより良くなります。

近年、町では、国、県からの権限移譲や多様なニーズ等に対応するため業務量が増加してきています。

しかし、人員と財源は限られており、その中で、いかに効率よく処理し、住民サービスを高めていくかが課題となつていま

す。析し、無駄や問題点等を洗い出す業務量調査を実施します。これにより、適正な業務分担や運用の仕組みに改善し、より効果的・効率的な運営体制を確保します。

そこで、業務改善のノウハウを有している業者と協力して、業務の処理方法や職務の分配、組織の運用構造等を調査・分



# 補正予算4件は 全会一致で可決!!

- 一般会計
- 介護保険特別会計
- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計



## 小児医療費の増額

150万円

今年度から中学校卒業までの医療費を無料化しています。

当初予算で、昨年度までの0歳～小学生分に新規の中学生を加え、総額4500万円を見込んでいました。

しかし、小学校の通院分が増加傾向にあり、今回、150万円を補正予算として計上しました。合計で4650万円となります。

## 待避所のための

## 用地購入等

320万円

本村の天満神社の南の町道(里見435号)の待避所を確保するために、用地購入費として200万円、工物と立ち木等の補償費として120万円を計上しました。

工事は平成25年度に予定しており、ブロック積みによる、のり起こし工

事を行い、待避所を設け、利便性の向上を図ります。

## 12月補正の結果

会計名	補正額 (補正後の予算額)
一般会計 (第5号) 専決処分	1186万円 (42億2535万円)
一般会計 (第6号)	△3167万円 (39億9368万円) (7786万円)
国民健康保険特別	4207万円 (12億3144万円)
介護保険特別	31万円 (9億1324万円)
後期高齢者医療特別	54万円 (1億2725万円)

(注) ( )内は、財政調整基金からの振替えを加えた歳出の実質補正額

## 町条例・規約

### 心身障害者医療費給付条例の一部改正

本条例による受給資格者の表現を国民健康保険法の表現に合わせるとともに、療養終期を運用どおり資格を喪失した日の前日と改めました。

### 笠岡市・浅口市及び里庄町青少年育成協議会規約の一部改正

平成25年4月1日をもち、浅口市が脱退することとなったため、構成市町を変更しました。

(すべて全会一致で議決)

## 質疑

### 町道路線の廃止と認定

#### 認定後の管理責任は

**仁科議員** 新庄28号線を廃止し、新たに28を分ける場合、28の1と28の2が常識的と思うが。

里見715号線(殿迫)の土地は、誰のもので誰が管理していたのか。

新庄621号線(川南)がある宅地の開発は、いつ完了したのか。34区画のうち20棟が建設されているが、道路用地は今誰のものなのか。

地盤が悪く沈下の可能性がある。今何か起きたら、造成業者に瑕疵担保責任がある。

町道認定した場合、道路管理者としての責任はどうなるのか。

**農林建設課長** 認定の番号づけにルールはない。

28の1号線と名付けた理由は、廃道前の28号線と関連づけるため。

715号線は、開発業者の所有である。壊れた場合、開発業者の責任。今回認定されたら、所有権の移転登記をし、町が維持管理をしていく。

川南地区開発の完了公告は、平成24年2月17日に出ている。名義は開発業者のままであり、今回の認定後に所有権の移転登記を行い、町の維持管理となる。

他市町村の事例を参考にしながら、現在一年の責任となっている内規の修正も必要と考えている。



町道新庄 621号線



町道新庄 28号線



町道新庄 46号線



町道里見 715号線



町道新庄 28号線



町道新庄 28-1号線



町道新庄 47号線

## ここが反対！

### 条件を付加すべき

岡本雅道議員

この団地内の道路は、開発されて1年経過していない。道路の強度が不明確。壊れた、陥没したときに、認定後は、全て町の責任となる。

道路の不具合に対して業者が責任を持つような条件を付加した上で認定すべき。

### 様子を見て改めて検討すべき

仁科英磨議員

本件道路を含むこの住宅団地は、今年の夏ごろから今年初めにかけて突貫工事でやってきた。

まだ1年もたたず、この地域は湿地帯であり、大丈夫なんだろうかという不安がある。沈下等を否定できない。

道路認定により町の管理責任が発生する。

もう少し様子を見て改めて検討すべき。

## ここが賛成！

### 約2年間の瑕疵担保期間

小野光三議員

現在の町の規定では、業者の瑕疵担保責任は道路認定後1年間とされている。当該道路用地が湿地帯だったということもあり、他の道路と比べ起伏が生じるなど危険が高いため、道路認定を約1年おくらせ、約2年間の瑕疵担保期間を確保できるよう対応した。

### 現在の規定で判断すべき

辻田勝之議員

この地域は、約4分の1はザブ田。そのほかは、普通の田んぼである。

造成地のボーリング調査は、中心部分で5mしている。造成開発については、大きな問題はないと聞いている。

現在の町の規定あるいは、決まりに基づいて判断するべきである。

## 建設福祉委員会で審議

委員会に付託された町道路線の廃止と認定の8議案を審議するため、委員会を12月10日に開催しました。

現地調査を行い、担当課から説明を受けた後、慎重に審議を行い、いずれも全会一致で原案を可決しました。

なお、審議の中で開

発団地内の町道認定は、

開発者の責任期間等に一定のルールを設ける必要がある。図書館西の町道新庄622号線の認定は、国土調査実施時に本件道路用地と図書館用地とを分筆登記するべきとの意見がありました。

(全会一致で認定)

## 深く審議したのか

岡本議員

認定後の維持費、管理費について、今後どのようにしていくか、ということに課題があるにもかかわらず、認定をしたとのこと。深く審議をしたのか。

建設福祉副委員長

各委

員が意見を述べ、執行部からは周辺の市町村での例や当町の内規、過去の事例等の説明があった。今後、これらの課題を十分検討してもらおうよう要望した。



町道新庄 622号線

621号線は賛成多数で可決

(賛成6、反対2)

他は全会一致で可決

# 質 疑

▼職員が調査すればできる  
▼全額借り入れる理由

一般会計補正予算について4人、条例の一部改正について1人、専決処分承認について2人が質疑を行いました。

## 一般会計補正予算

### 物忘れ相談プログラムとは

**眞野議員** 民生費で13

9万5000円の物忘れ相談プログラム購入費とある。どんなもので、目的や、どこで誰がどのように活用するのか。

**健康福祉課長** タッチパネル式で認知症の早期発見を目的につくられたもの。

健康福祉課に置き、希望者に検査の日を設け、実施していきたい。

スクリーニング(テスト)後に病院に行く必要

がある方は、医療機関を紹介したい。

## 工事価格は適正か

**眞野議員**

85万円で大原西の町営住宅を撤去すると聞いた。

工事はいつ始めるのか。価格は適正で、工事業者は町内なのか。

**農林建設課長**

工事は、予算の承認後、速やかに行いたい。

見積書は町内の業者3社からとっているが、契約はしていない。

## 四つ葉の家の職員構成は

**岡村議員**

四つ葉の家は、就労支援B型に移行する方針と聞いている。

B型の基準として規定があり、管理者、職業支援員や生活支援員、サー

ビス管理責任者は常勤でなければならぬ。

現在、どのような職員構成か。

今回の委託料の補正130万円の内容の詳細は、

**健康福祉課長**

今回の補正は、人件費の増額。

B型のメリットは、障害者自立支援法による報酬の受入れ。年間2000万円の報酬が見込まれ、運営が順調にいくと、現在の町からの委託料1000万円は不要になる。また、職員の充実による

って、利用者にとり、よい環境がつけられる。

職員は常勤換算で3名以上の要件がある。11月からサービス管理責任者を1名採用しており、また、1月から生活支援員1名を採用予定で、常勤換算で合計3・5名となる予定。



みんな、いい子で

## 修繕対象の入居者は 家賃滞納者ではないか

**岡村議員** 住宅管理費で20万円の修繕費の補正がある。

どこの住宅で、どのような修繕をするのか。対象住宅の入居者は、家賃滞納者ではないか。**農林建設課長** 林住宅で、ドアノブの壊れとトイレ

ファンの電気モーターの修理、水道メーターの移設工事。

家賃の一部滞納はあるが、滞納分を少しでも納めてもらうという条件で工事を行う。

## 職員が調査すればできること

**岡本議員** 業務量の調査

委託料は、現状が適切な業務配分ができていないので調査するのか、また、委託する必要があるのか。ワークサンプリングを

行うのか。標準作業は明確化しているのか。業務の中でバランスをとるだけのものなら、税金の無駄遣い。職員が互いに調

査すればできること。**総務課長** 業務を1月、3月の3カ月間で調査をし、その結果を把握、分析した上で、業務の効率化を図りたい。

バランスだけを見るのではなく、見直した後にその成果を十分に活用していく。

## 質疑

## 200万円で解決するのか

**岡本議員** 本村地区の通行止めとなっている道路に、公有財産購入費200万円となっている。

このことにより問題解決し道路が開通するのか。**農林建設課長** 本村を通って津江通りへ抜ける道で、地元関係者と意見交換会をして、待避場所、

離合場所、路肩、カーブミラー等、安全施設を完成させた後に開放する。

**町長** 本村地区の神社下の所を拡幅し、現状の道と南側の道をつなぐ。その次に南側の道を拡幅して、最終的に県道につなげたい。

## リサイクル法に沿った見積りなのか

**岡本議員** 町営住宅解体工事請負費85万円の予算は、坪単価で幾らになるのか。

家屋の解体だから、リサイクル法にともないマニフェストに沿った見積りなのか。

**農林建設課長** 坪単価の計算はできていない。前回の焼山地区の撤去費に

比べ、建物が小さいので安い。

瓦や木材をどこに捨てるかなど、この見積書には添付されていない。

## 業務量調査の目的は

**仁科議員** 業務量調査委託は一体何を目的にしているのか。町の業務の実態を知っている人が参加すべき。

また、町長はこの調査で何をしようとしているのか、最終的にどのようなイメージで調査委託をするのか。**総務課長** 職員が少なく

行政サービスや仕事量が増えて、負担が大きくなっている。また、意思決定のスピードなども求められている。

仕事量が簡素化、仕事スピードで調査を行う。**町長** 仕事を効率よくし、サービスの向上を図ることが目的。

## 全額借り入れる理由は

**仁科議員** 資金の余裕はある。臨時財政対策債の借り入れは抑制すべきだ。全額借り入れようとする理由は。

一億円借り入れを減らしたら金利は減るか。**総務課長** 交付税の不足分を国が借りてくださいということ、全額借り

入れる。現在の金利は0.6%なので年間60万円。20年間で1200万円。**町長** 臨財債を借りることによって町に直接損害が及んでない。借りれるものは借りて、すべて後で補填してもらう。そして事業に回してサービスの向上を図る。

### 小児医療費が増額になっているが

**仁科議員** 小児医療費単

独分が150万円増額になっ  
ているが、これは、中学生の  
部分なのか、小学生等の部分  
なのか。

今年当初4500万円組んで  
いるが、就学前

小学校、中学校、それぞれ入  
院分、外来分がどうなっている  
のか。

小学生の外来だけが増額にな  
った理由は。

**健康福祉課長** 9月までの実績を  
昨年度と比較す

### 里庄町心身障害者医療費給付条例の一部改正

### 外国人にも広がるのか

**仁科議員** この改正により、  
事業対象が外国人の住民に  
まで広がるのか。

この事業は、国の事業か、  
県の事業か。町の単独事業  
なのか。

補助率、事業費は。

給付の終期を、喪失した日の  
前日と変えた理由は何か。

**町民課長** 平成24年7月9日の  
法改正によって、外国人も  
住民基本台帳に登録され、  
住民票の記載が可能とな  
った。

登録外国人は、11月末現在で  
102名。

**健康福祉課長** 県の補助事業  
である。

町はさらに、所得によ



いつまでも、なかよし

ると、就学前が約50万円減  
少し、小学生が約190万円  
増加している。今回の150  
万円の補正は、小学生の外  
来の費用で、県の補助金  
はない。増額になった理由  
は、確認できない。

### 専決処分の承認

### 国政選挙は町費ゼロが本来

**仁科議員** 衆議院議員選

挙費は、一般財源で63万  
円の支出となっている。国  
の選挙は、町費はゼロが  
本来である。

報酬額104万円の人  
数、単価はどうなっている  
か。管理人や立会人は、  
公平に選任しているか。  
備品購入費では、どう  
いう物を購入し、どこに  
置くのか。

347万円の投票用紙

読み取り分類機は、購入  
済みか。これにより、超  
過勤務手当がどの程度節  
減できるのか。

国政選挙だから、国費  
または特別交付税の対象  
として強く要望すべきで  
は。

**総務課長** 報酬の詳細は、  
手元に資料がないので分  
からない。

選挙管理委員会で、公  
平な選任を心がけ決定し

### 知事選には町は出っくいなうのでは

**平野議員** 先般の県知事

選挙には、町のお金は出  
していないと思うがどう  
だったのか。

県知事選に出さずに国  
の分に出すのはおかしい  
と思うがどうか。

**総務課長** 手元に資料が  
ない。県知事選は、町の  
持ち出しが200万円あ  
ったと思う。持ち出しが  
ゼロではない。

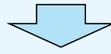


新成人

ている。スロープを高岡公会堂  
へ配置し、記載台を10台  
購入した。読み取り機は、す  
でに購入している。開票時  
間の短縮や時間外手当の削  
減等につながるかと考えて  
いるが、試算はできてい  
ない。一般財源を支出する  
ことのないよう、県へ要望  
し続ける。

# 里見川荘調査検討特別委員会の検討状況(中間報告)

現行の運営方式は**法律に違反**している → 県の**更新許可**を得られない



代替案

- 町直営
- 里庄町社会福祉協議会又は地方独立行政法人(新たに設立)による運営
- 指定管理者への委任(里庄町社会福祉協議会、現行の萌生会(国定病院)を含む法人等)

いずれが最善か検討中

介護老人保健施設「里見川荘」の平成26年4月以降の運営のあり方について、最善の方法を検討するため、昨年1月に設けられた本委員会の、これまでの検討状況を、報告します。

## 1、開催状況

- (1) 全体会議 4回
- (2) ワーキング・グループ 10回
- (3) 現地調査(10月) 箕面市介護老人保健施設

## 2、これまでの調査検討結果

### (1) 里見川荘の現状

運営形態 町の直営(清掃等は業務委託)  
(清掃、シフト交換等は、ボランティアの協力あり)

職員の構成

町職員 6名

医療法人萌生会からの出向 58人

出向・併任発令の根拠:平成4年4月1日締結の  
「運営業務契約書(町長・理事長間)」

入所定員

入所 95名 通所 20名

### 事業費

平成23年度支出総額 3億9549万円

うち萌生会委託料 2億4402万円

うち人事管理費 2428万円

[給与費の12%(消費税5%を含む)]

### (2) 現在の運営方式の問題点

法的に許される出向になっていない(県の、平成26年4月からの更新許可を得られない)。

法律	違反等の内容
職業安定法	禁止されている「労働者供給事業」にあたる
医療法	医療法人が行える付帯業務に含まれていない
地方自治法	常勤職員の定数を条例で定めていない
労働者派遣法	この法律により行える労働者派遣事業も一部の業務に限られる

### (3) 今後可能な運営方式

制度的に今後可能な運営方式の事業主体別比較は、次のとおりです。

事業主体	直営の主体となれるか	職員を出向させられるか	労働者派遣事業を行えるか	業務委託を受けられるか	指定管理者となれるか
町	◎	—	—	—	—
社会福祉法人	◎(このための新設は×) ①既設の社会福祉法人は、公益事業(公益を目的とする事業で、社会福祉事業以外の事業)としてできる ②公益事業は、「社会福祉事業に対して従たる地位にある」ことが必要 ・本来事業がおろそかにならない ・定款の定めがある	× 職安法で禁止されている労働者供給事業にあたる	△(新設は×) 医療関係以外の業務(介護職員、介護支援専門員、支援相談員、給食調理員等)は、公益事業として派遣できる 但し、期間限定	○(新設は×) 入所者の処遇に直接影響を及ぼさない業務(調理、事務、施設保守管理等)は、収益事業(社会福祉事業または、公益事業の財源に充てるための収益を目的とする事業)として受託できる(事業費が全体の1/2以下に限られる)	◎(新設は×) 既設の社会福祉法人は、公益事業としてできる
里庄町社会福祉協議会	◎ 同上	△ 営利を目的としないので出向の余地はある	△ 同上	○ 同上は、公益事業として受託できる	◎ 同上
地方独立行政法人	◎ 本来業務として	×	△ 同上は、付帯業務として派遣できる	○ 同上は、付帯業務として受託できる	◎
医療法人	◎ 本来業務として	×	× 原則としてはできない	× できない	◎
一般の法人・団体・個人	× 認められていない	×	△ 同上は、できる	○ 同上は、できる	×

◎制度的に全く問題なく可能 ○制度的に許される範囲内で可能 △可能であるが大きな制約がある ×制度上認められておらずできない

## 3、今後の作業予定

現在、表題に挙げた各方式のうち、いずれが最善か、検討中です。

所要額の比較を含めて、メリット、ディメリットを検討・評価し、年度内に結論を得る予定です。

# 新年の挨拶



里庄町議会議長

松原 繁之

年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より町議会に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。国においては、昨年末に政権交代がおこなわれ、震災の復興、経済対策、外交政策など難題が山積しており、新たな対策を早急に講じられ、問題解決の進展に期待するところです。

現在、地方行政におきましても、地方分権が推進される中、各自治体の自主性や自立性が重んじ

られ、社会環境の変化に対応した自治体運営が求められております。

町財政においても、景気低迷による税収の減少や、少子高齢化による福祉費の増大など、財政状況の硬直化が懸念されており、今後さらなる行財政改革に努め、真に必要なもの、必要でないものを見極めながら無駄のない効果的な事業、施策に取り組まなければなりません。

そのため、二元代表制の一翼を担う議会の果たす役割がますます重要であり、時代に即した議会

改革に取り組みながら、議員一同、里庄町民の代表として、これまで以上に民意を反映させるべく、町民が主体のまちづくり、なお一層の努力を重ねてまいる所存であります。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多く、飛躍の年となりますよう心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



後列左から 原田順夫 小野光三 仁科英磨 岡村咲津紀 岡本雅道  
前列左から 高田卓司 辻田勝之 松原繁之 眞野博文 平野敏弘

# 一般質問

## 町政を問う

町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

重要であると考えている。子ども達を育てていくため、教師や友達、保護者や地域のかかわりの中で、調和のとれたクラス、学校という集団をつくっていくことが大事であると考えてる。

子ども達がさまざまな場面で認められ、自己肯定感を高めながら自分のよさや主体性を伸ばしていくことが教育のポイントである。

## 調和のとれた学級とは

教育長／学校教育とともに  
家庭教育も重要



辻田 勝之 議員

### 問

子ども達は、学校では学級が一つの家庭である。調和のとれた学級は、しっかりとほめることやきちんと叱ることができる。

学級づくり実践の体験者として、教師と子ども達の学級づくりは、保護者と学級、教師の立場に着眼点を置いたらどうか。

地域住民と子ども達、また管理職を経験された方々の思いや願望はどうか。

### 教育長

町の子ども達は、全体として、意欲的に学習に取り組み、休み時間には外で元気に

遊び、明るく元気に過ごしている。

しかし、中には学習を理解するため、時間がかかるなど、学習意欲の低下や、友達関係で悩んでいる子どもがいることも現実である。

教師は、さまざまな子ども達の状況の理解が必要で、触れ合いを通して、共感的な人間関係を築き、それを基盤に観察を行い、適切に指導していくことが求められる。

教師の資質や能力を伸ばしていくため、自己研鑽と教師同士のつながりが重要であると考えてる。友達との関わりは、授業でグループ学習を多く

取り入れ、自分の考えを友達と交流する活動を行っている。

また、異学年のグループで給食の準備や、一緒に食べることで自分の役割を果たし、友達と協力することの大切さを学べるようにしている。

豊かな心を育てるため、異学年のグループで花を育てる活動なども行い、子ども達同士が自分たちの力で、力と心を合わせ、伸びていけるように配慮している。

学校の様子や子ども達のよいところを保護者に伝えることが大切である。教育委員会では、学校教育とともに家庭教育も



今日も元気に登校

# 老老・認認介護に早急な対応を

健康福祉課長／地域包括支援センター職員  
定期的訪問等により、支援



岡村咲津紀 議員

## 問

来年には4人が65歳以上の時代に入る。高齢化率は、今後さらに上昇の見込み。高齢者施策は、このような変化に対応したものでなければならぬ。町の高齢化率の今後の推移は。

単身高齢者、夫婦のみなど的高齢者世帯は、健康不安を抱え孤立を深めながら日々の生活を送っている。要支援、要介護の人は何人いるのか。老老介護や認認介護の問題には、早急な対応が必要。町内の実態は。また、町独自の取り組みは考えられないか。高齢者保健福祉計画の概要と進捗状況は。財政負担の低減策は。

## 健康福祉課長

高齢化率は26・84%で、県内では低い方。平成29年には29・9%になる見込み。町の高齢者世帯率は48・8%。うち高齢者単身世帯及び高齢者のみの世帯は、増加している。要支援124人、要介護360人。

当町は、地域包括支援センターから定期的に訪問し、支援。また、各種の介護予防事業、緊急通報装置の設置、配食サービス等を行っている。計画には、健康づくりの強化、支え合い体制づくり等を盛り込んでいる。在宅ヘルパーや通所サービスはほぼ計画どおり微増、入所サービスは計画より低い。

## 町長

予防事業の充実により、給付費を抑えることができている。

健康で住みなれた地域で生活が送れるように支援することが重要。

# 自主防災組織の立ち上げに支援を

総務課長／いつでも問い合わせてください

## 問

町は、地区懇談会で、3年を目途に分館の半分以上で自主防災組織を立ち上げて欲しい、と説明した。

しかし、参加者の多くが、組織を立ち上げるためにまず何をすべきか分からないという雰囲気。町は、住民を対象としたセミナーや防災活動の必要性を知る研修会等を計画しているか。組織の構成や運営方法について、アドバイスや支援を行うか。

資機材購入に必要な情報の提供は。50万円の補助で賄えない部分は。

## 総務課長

自主防は、行政主導で進めるものではない。情報提供や支援を行う体制はとっている。

いつでも問い合わせを。検討している分館には積極的に支援。要望があれば、出前講座も行う。資機材の例は、交付要綱にある。不足分は、分館との相談、寄附等で。



消防団、出初め式に集合

## その他の質問

Q 餌を与えない指導や野良猫を減らす対策は

A 広報紙等により啓発したい

Q 野良猫の不妊、去勢手術の助成は

A 財団法人岡山県動物愛護財団で実施している

岡本 雅道 議員



# 町に何が一番大事なのか 考える思考力がない

## 町長／いっぺんには進まないが、できる限り前に進める

**問**

自主防災組織の設立は、音頭をとる人に大きな負担がかかる。だから行政が音頭をとるべきだと、6月に質問した。

また、立ち上げのマニュアルをつくることを尋ね、町長は、6カ月以内には組織図ぐらいはつくって出すと答えた。

しかし、内容も全く変わっていない。非常に残念。

防災計画の改定は、6月以降進んでいるか。

国や県が示す資料を町がアレンジするのではなく、町が想定したものに對し、県や国の資料をアレンジしていくべき。

避難場所や避難経路にしても、いざとなった時に使える計画を各地区でつくってくださいと、行政が音頭をとるべきだ。

防災対策が進んでいないのは、本町では、何が一番大事なのかを考える思考力が全くないためだ。

**総務課長**

分館からの問い合わせに對して情報提供、助言を行ったり、要望があれば出前講座という形で説明会を実施している。

自主防は9月に大原中で設立され、大原西も現在準備中。

防災計画は、9月に策定業務の委託契約を締結した。

東日本大震災を受けて見直された法令や、県の防災計画との整合性を図るための修正が主。

国、県、町の計画には、整合性が必要。その中で、町はどこを重点に策定していくかということだ。

津波、大雨、池の問題も、策定する中で検討する必要と考えている。

**町長**

地震、津波は、町独自では想定できない。来年3～5月に出る想定を基に計画を立てる。

池の補修は、県補助や

町でやる。

いっぺんには進まないが、できる限り地区の人と協働して前に進めている。

大原中の自主防の組織図は提示できる。

自主防の押しつけはできない。少し時間がかかっても、災害が起こる可

能性をまず理解してもら

い、誰が長になるか、誰がそれにふさわしいか、地域、地域で決めてもらう。

そういう難しさがある。

## 地区の老人クラブ代表にも報酬を

### 町長／個人にはなかなか補助できない

**問**

各地区の老人クラブの代表の仕事は、4月の老人会の花見への出席取りから始まり、年間11～12ぐらいあると聞く。

分館長の仕事に匹敵するぐらいの仕事量だ。

分館長にも組合長にも手当が出ているが、老人クラブの代表には、手当は一切ない。

電話賃もいる、ガソリン代もいる。車に乗れない人は大変だ。

い人は大変だ。

皆さん里庄発展のために努力してくれた方だ。報酬を出したらどうか。

**健康福祉課長**

各分館の老人クラブに500円×会員数十一律3000円を、老人クラブ連合会に年間12万円を、補助している。

町の財政状況等を考えると、地域でできることは地域で、ボランティア

でできることは各団体やグループで、行ってほしい。

**町長**

大変だろうが、個人にはなかなか補助できないので、各団体へ補助している。そういう形で協力をお願いする。



おもち まだかな～

# 浜中バイパスはもともと県の事業

理事／約300万円の交付税がある

## 問

町長から、町道里見229号線完成後、県道園井里庄線を県からもらい受け229号線と合わせて町道として管理していく、との答弁があった。

管理費用など新たな負担を行う余裕は、町にはない。大きな補修が必要になった場合は、どうするのか。

また、浜中バイパスはもともと県の事業であり、国道2号線が混んだ際の迂回路として町外の人の方が多く利用する道路。県に要望するなど、町民の税金を使わない方法を考えないのか。

## 理事

西ノ平地内から町道229号線

までの延長2400mは、現状のままではなく、路面補修等を県と協議して、工事終了後に引き継ぐ。

年間の管理費用は、路肩部分の草刈り2回、安全施設等の修繕費、路面の補修費、道路照明の電気料金等、延長割合で算定すると約150万円ほど。

これに対して、交付税算入が、約300万円程度ある。

## 町長

国も県も町も財政的に厳しい。応分の負担はやむ得ないと考えている。

議会の意見として対応をしてくれと言われれば、知事に要望していく。

## お金がなければ安心、安全で暮らせない

総務課長／目的にあった計画的運用を行う



平野 敏弘 議員

## 問

不況による法人税の大幅な落ち込み、町財政を取り巻く状況は依然として厳しい。年が明けると来年度の予算編成も本格化する。

町長はどのような方針で予算編成を行うのか。基金の取り崩しについては、どのような考えか。家庭と同じく、お金がなければ安心・安全で暮らせない。一層の努力が必要。

## 総務課長

時代の変化や町民のニーズを的確に捉え、町民目線で考え、費用対効果の高い予算編成を行う。

特に、教育、子育て環境の充実、健康増進や社会福祉の充実、基盤整備

の3点を力を入れていきたい。

また、一時的に費用が発生しても、町民の生活上を明るくするもの、将来町の財産として残るもの、負担軽減につながるものは、効果的な投資として積極的に進める。

平成23年度決算の基金残高は、約33億7000万円。ピークだった平成18年度決算時の約40億円から比べれば、5年間で約6億4000万円減少している。これは主に、つばきの丘運動公園、町道229号線、公共下水道事業など、町主要施策に集中投資した結果。今の健全な状態が保てるよう、目的に沿った計画的な運用を行っていき

その他の質問

Q 仁科財団を公益法人にするメリット

A 社会的信用をバックに顕彰事業を実施できる

Q 公益法人移行の費用を安くできないのか  
A 経費の削減、節約に努力する

Q いつできるのか  
A 申請書類の提出は7月下旬と考えている



安全祈願祭(町営墓地)

仁科 英磨 議員



# 団地開発は行政主導で

農林建設課長／本町での規模のものは民間主導で

## 問

松尾地域の住宅団地開発は、どうなっているのか。

今回の開発については、要綱をどのように適用するのか。

1000㎡以上の団地開発が過去10年間でどれだけあったか。

多くの開発が町内で行われている。町民の知らないところでどんどん起きている。業者と住民の接点は、行政が主導でやっっていくべきだ。

必要なら要綱の改正をすべきだ。

## 農林建設課長

当初の計画では、6500㎡を一体的に開発すると聞いていたが、3〜4カ所に分けて開発する。

都計道路用地の先行取得については、おおむね合意が得られた。

町の指導要綱を適用して、排水計画等の協議を行う。また、ごみステーションや安全施設等もチェックする。

団地開発数は合計件数27件。その他に、農地転用で14件。

本町が進めている程度の規模のものは、民間主導で進めるべきである。

基本的に、行政は、地元と業者間の調整役として、地域の状況を勘案し、問題点を指摘改善できるようにする。

## 町長就任後6年間で 財政が厳しくなった

### 総務課長／将来発展のため 基盤整備を進めた結果

## 問

当町の財政状況は大変豊かだ、と言われているが、私にはそうは思えない。起債残高が増え、基金は減っている。

大内町長就任後6年間で8億円貯金を減らす等、財政は厳しくなっている。

また、財政硬直化の状況を見ながら、平成25年度当初予算の編成方針は

## 総務課長

平成18年度と23年度の決算を比

べると、一般会計基金残高は約6億4000万円減少、起債残高は約9億7000万円増加している。

財政状況は厳しくなっているが、つばきの丘公園、町道229号線、公共下水道等、将来の発展のための基盤整備を進めた結果である。

第3次振興計画に基づき、各課の積み上げから予算を査定している。

## デマンド型コミュニティタクシーを

### 企画商工課長／意見無く、検討しない

## 問

井笠バスが11月から廃止になり、里庄寄島線は無償で運行を継続している。4月以降も継続すると新聞に載っていた。浅口市議会の発表では、里庄町長から申し出があったとのこと。

4月以降も、一般財源を入れてまで特定の路線を継続することは、不公平である。

中古の小型乗用車で、町内全域にメリットが及ぶ、ドア・ツー・ドアのデマンド型の乗り合いコミュニティタクシーを運行してはどうか。

## 町長

通学している子どもが多く、継続して運行するよう浅口市長にお願いしている。

## 企画商工課長

通勤通学の足な視点を持って、浅口市と連携して決断をした。デマンドタクシーについては、地区懇談会等で、高齢者からも意見は出ておらず、現段階では検討しない。

## その他の質問

Q 茶屋橋の信号を残すことになった経緯は  
A PTAや地元の要望もあり、県への要望の結果

Q 仁科財団の公益法人化手続きに無駄はやめよ  
A 750万円は多大とは考えていない。節約に努めながら進める。

## 楽しかったボーリング大会

## 高岡子ども会

高岡子ども会の会員は、高岡・屋中分館で構成している21人です。

今年のレクリエーションは、何をしようかと考え、ネットで検索すると、ボーリング2ゲームにお弁当と送迎がついたプランがありました。

幼稚園児でも、楽しめるのか不安でしたが、重たいボールを転がせる投球補助台や、ノンターゲットレーンの設備があり、園児から6年生まで全員楽しむことができました。ストライクやスペアをとった時の歓声、ボーリング初体験の子がピンを倒した時の笑顔…見ていて微笑ましい光景でした。私達が子どもの頃は、地域の子も達と外でよく遊んでいましたが、最近では外で遊ぶ子どもを、

あまり見かけません。幼なじみと過ごした時間は大人になっても記憶に残ります。

町内には、子ども会がない分館もあるようです。時代の流れかもしれませんが少し寂しい気がします。

塾や習い事等で、子ども達も忙しいと思いますが、できるだけ外の自然に触れてほしいと思います。

寒い日も暑い日も登下校を見守ってください。防犯パトロールの方々、子ども110番を毎年快くお引き受けくださるお宅子ども会の行事にご理解やご支援をくださる分館の方々に、心より感謝申し上げます。

今後も、子ども達の成長を見守り下さい。



## 《第71号》

平成25年1月31日 発行

発行/岡山県 里庄町議会  
〒719-0398岡山県浅口郡里庄町  
TEL(0865)64-7217  
FAX(0865)64-3618

編集/議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.okayama.jp

## ●あしがき

新年おめでとうございます。健やかに  
お正月を迎えられたことと思います。

さて、私ども広報委員は、独自の視点から町政に係る重要な情報を町民の皆様に伝えなければならないと使命感をもち、日々研鑽しています。

町民と議会を結ぶ「議会広報」について、町民の皆様のご意見、ご感想をお寄せください。  
(岡村)



## 編集委員

委員長: 眞野博文 副委員長: 小野光三 委員: 岡村咲津紀 委員: 仁科英磨